

## 関東甲信越支部長活動報告

2010年12月



支部長 上浪 寛

### 支部執行部からのメッセージ

皆様、明けましておめでとうございます。いよいよ待ちかねた2011年に突入です。9月の終わりにはUIA東京大会が開催されます。公益社団法人を目指す新生JIAのためにも、会員一人一人の力を集結してUIA東京大会を実りあるものにしていきましょう。1月13日からは正式な大会登録が始まります。今までに登録をすませている方は正式登録が代行されていますが、JOBから送られてくるメールに従って再確認するようお願いいたします。まだ登録がお済みでない方は、まず支部事務局へFAXで申し込んでください。JIA 会員関係者については支部を通すことで団体登録による事務手数料が支部に支払われます。1月13日正午にはウェブによる「一万人の建築家展」も正式オープンします。こちらへの参加は原則無料です。JIA 会員は全員、なるべく早く「一万人の建築家展」への参加をお願いいたします。

<http://www.10000architects.com/>

### 支部長活動報告

- 2日 JIA サロンセミナーが観音克平会員の講演により「郵政建築」をテーマに開催された。昭和24年頃までは建築家個人の名前で作品が記録されているが、建築行政が新しく制度化された昭和25年頃からは個人名が薄れていく、という歴史を興味深く伺った。
- 3日 馬淵澄夫事務所より国会終了後にJIA会長面談可能との知らせを頂く。
- 4日 港地域会のセミナーが「まちの過去と未来」をテーマに港区の地勢図や町歩き等を元に研究された野老正昭会員、大川三雄氏を迎えて開催された。
- 6日 馬淵国土交通大臣と面会。12月3日の国会終了後のトップバッターとしてJIAから芦原会長、東條副会長、筒井専務、上浪の4名が伺い、他の同席者がいない中、馬淵大臣と大臣室で面会した。大臣が、国土交通省を挙げて建築基本法制定に向けて動き出すことを明言された。また各団体がバラバラな動きをしている建築業界への苦言を呈され、皆で知恵を出し合うことを要請された。芦原会長から大臣に対して、UIA東京大会のため業界団体が初めてフェデレーションを組んで準備を進めていることを説明

- した上で、UIA大会への更なる支援をお願いした。夕刻、会員種別WGが開かれた。理事会に提案する定款改定案第6条「会員種別」に関して会員規則、会費規定を踏まえて議論を進めた。
- 7日 JOB実行委員会が開催された。1月13日正午よりUIA東京大会の正式登録が始まる。ツアーは1月より順次アナウンスが開始され、4月より募集が開始される。すでに仮登録された方のデータは入力済みなので、メールでデータの確認やプログラム参加チェックを促す。10月末で締め切られた論文・建築デザイン発表の応募総数はそれぞれ有効数で490点・249点となった。UIA本部からの活動展示依頼は今後相当数の国から参加が来そうである。日本建築美術工芸協会のAAC A受賞式が開かれる。建築・美術・工芸の作者達による協調作品を評価した賞として他にない、意義深いものである。
- 8日 支部事務局員4名、副支部長3名を交えて事務局体制の状況を確認する。事務局員それぞれの担当業務や負担割合、要望などをヒアリングする。午後、資格制度委員会が開かれる。登録建築家更新に必要なCPD単位に一級建築士定期講習修了者について24単位を加算することを委員会として決議する。資格制度に関する建築士会連合との協議はUIA東京大会を目指して調整が進んでいる。
- 10日 支部総務委員会が開かれ、1月14日の「新春の集い」の段取りを協議した。また財政の動向についてキャッシュフロー、会員数動向などの報告がある。
- 13日 本部国際委員会が開かれる。今までJIAの先輩達がキープしてきた国際活動について議論する。継続的に高額なUIA会費を支払ってきたのは国内に対するプレゼンスがあったが、国内向けでなく本当の国際関係を目指すべきで、国際活動を会として継続するならば他国との握手に終わらせず、若手会員のモチベーションに寄与する活動が期待される。JIAが主催するUIA東京大会プログラム「一万人展」について打合せを行い、国際委員会との連携を確認する。1月13日正午にWeb展覧会をオープンする。作品の集積に従い、複数のキュレーターによる企画展も展開する。
- 16日 UIA支部推進委員会が開かれる。前半をツアーWG, 推進施策WGで議論し、委員会で議論する。1月14日開催の第5回UIA大会連続シンポジウムをネットでライブ放映すべく、支部広報委員会での検討をお願いする。
- 17日 支部役員会が開催される。本部理事会、全国地域合同会議、高知で開催された全国支部長会議、アーキテクト・ガーデン、本部・支部役員改選日程の報告が行われた。今年は保存大会が3月12、13日に予定されているため支部役員会を3月4日に変更すること、2011年度支部総会は5月9

- 日(月)とすることが承認された。(地域会からの決算報告は4月9日まで)本部財政が逼迫しており2月には資金ショートすることが予想されている。本部より全国の支部に対して不足分の借入が要請された場合に備え、支部として対応する事を承認する。役員会終了後、シャンパン、ワインを持ち寄って乾杯する。
- 19日 世田谷地域会のまち歩きに参加する。下北沢駅前再開発により失われてしまう下北沢独特な界わい性を地図片手に体験する。
- 20日 UIA大会本部推進委員会、本部理事会が開催される。UIA大会登録者について、JOBとしては個人情報をも札に限定しているが、JIAとしては問題ないことを確認し、JIA会員のUIA登録名簿をJIAのHPに掲載することを承認する。ベルコリーヌ南大沢調査報告書問題について日経アーキテクチャーが11月中旬に詳細な記事を出した。守秘義務契約を結んでいるため詳細な報告ができなかった委員会からJIAの立場について詳細な報告が公になされた。
- <http://kenplatz.nikkeibp.co.jp/article/building/news/20101117/544279/>  
来年度は機関紙発行のため1,400万円に登る印刷代を予算計上すべきか議論する。JIA会員のメール網整備が遅れているため会員向け広報のデジタル配信が困難となっている。特に関東甲信越支部の整備率が低いことが大きな課題だ。本部財政が逼迫しており2月末に資金ショートが想定され、関東甲信越支部並びに近畿支部へ借入要請する可能性が報告された。資格制度について2会合意を進め、UIA大会前に合意事項を公表する予定と報告された。国土交通省が馬淵国交大臣発言を発表する。前後して建築他団体による大臣面会が行われ、その際、発表された大臣発言内容に加え、UIA東京大会についての言及があったと報告された。
- 大臣発言(11/17) [http://www.mlit.go.jp/page/kanbo01\\_hy\\_001299.html](http://www.mlit.go.jp/page/kanbo01_hy_001299.html)  
朝10時から推進会議、理事会と続き、終了が19時半となってしまった。18時半から住宅部会と金曜の会合同忘年会が盛会のうちに開催された。
- 24日 千葉地域会櫻井代表並びに井上幹事と千葉地域会が抱える問題点について話し合う場を持った。特に新法人制度における公益社団法人としての対応について協議した。

支部長活動報告 2010年12月

2010年12月31日作成 上浪 寛

「一万人の建築家展」<http://www.10000architects.com/>

UIA  
2011  
TOKYO DESIGN  
2050

September 25 - October 1, 2011